

# 第三回 キセラ川西 エコまち建築賞 選考結果及び講評



## 1. 選考対象

- ・平成29年度と平成30年度に完了報告が提出された物件は「16件」でした。<sup>1</sup>
  - 1 平成29年度はエコまち建築賞選考対象の条件を満たす物件数が少なかったことから建築賞の選考を行わず、今回、平成30年度とあわせて2ヵ年で完了報告が提出されているものを対象に選考を実施
- ・このうち、エコまち建築賞選考対象の条件<sup>2</sup>を満たす物件は「5件」でした。
  - 2 ラベリングの結果、低炭素・景観いずれも3つ以上獲得かつ低炭素・景観どちらかで4つ以上獲得
- ・選考対象の「5件」のうち、指定建築物（公共施設、または敷地3,000㎡以上）は「1件」（キセラ川西プラザ）で、一般建築物「3件」、倉庫「1件」でした。

## 2. 選考経過

- ・令和元年11月15日（金）午後2時～午後3時45分に、キセラ川西プラザ 福祉棟 2階 共用会議室において選考会を開催しました。
- ・現地視察の後、実施要領に基づき、6名の選考メンバーが採点を行い、それらの点数を合計、対象物件毎に総合点を算出しました。
- ・協議の結果、総合点の上位「1件」をエコまち建築賞受賞物件として選考しました。

## 3. 選考結果

第三回 エコまち建築賞受賞物件 1件

キセラ川西プラザ

用途：児童福祉施設等、集会室

建築主：川西市低炭素型複合施設PFI株式会社

設計者：株式会社大建設計

施工者：株式会社奥村組

## 4 . 講評

### キセラ川西プラザ

本建築は、PFI 事業による低炭素型複合施設として計画され、要求水準にもキセラ川西低炭素まちづくり計画や同運用基準に基づく取り組みが求められました。

その要求に最大限応える形で、低炭素分野においては、建物の断熱性能の向上、BEMS（ビルエネルギー管理システム）の導入、屋上での太陽光発電パネルや蓄電池の設置等に取り組み、BEIm（モデル建物法による設計一次エネルギー消費量/基準一次エネルギー消費量）=0.61 という高性能な省エネルギー建物となり、低炭素建築物の認定、CASBEE S ランクの取得を実現しました。

また、緑・景観分野においては、道路沿いや敷地内の緑化により、間口緑視率の基準を達成し、地区のうるおいある景観づくりに大きく寄与しています。建物にも外壁色などでの配慮がみられ、サインにはキセラ川西の名称・CI カラーが採用されました。

この結果、運用基準で示した全ての項目を満たし、点数も 40 点中 39 点とほぼ満点に近い得点を得ました。

キセラ川西のめざす低炭素のまちづくりのシンボルとなる施設であり、エコまち建築賞に相応しい物件として高く評価しました。

今回受賞しなかった物件（火打倉庫、山下貸倉庫（北棟）、山下貸倉庫（南棟）、ONLY ONE キセラ川西番館）についても、一定の基準を満たした「高ラベリング物件」として評価し、引き続き、エネルギー削減やエネルギー別消費量の報告、緑の確保・維持管理など、これからの取り組みにも期待します。

キセラ川西エコまち建築賞は 3 回目を経て、地区内でも受賞物件・高ラベリング物件が増えてきました。今後、建築される物件においても、これらの取り組みを模範として、キセラ川西が低炭素・景観で先導する素晴らしいまちとなるよう、さらに一歩進んだ取り組みを期待します。

### キセラ川西 エコまち建築賞 選考メンバー

学識経験者 (4名)	関西学院大学 名誉教授	加藤 晃規
	大阪大学大学院 工学研究科 教授	山中 俊夫
	愛媛大学大学院 理工学研究科 教授	松村 暢彦
	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授	武田 重昭
地権者(1名)		安田 萬作
行政(1名)	川西市土木部 部長	酒本 恭聖